

## 千種学区予約型乗合タクシー「モモタク」

インタビュー 代表者：伊永 高明

千種学区情報

世帯数

1,881 世帯

人口

4,065 人

高齢化率

36.3%

## ■活動のきっかけ

千種小学校区内の公共交通の手段は電車しかなく、他の移動手段としては、タクシーを利用するしかない地域です。学区内の住民の多くは、高齢になっても自家用車を運転して通院や買い物に行っており、運転免許証の無い人は、徒歩あるいはタクシーで移動していました。また少子高齢化の進展とともに、一人暮らしの世帯も増加し、地域の移動手段の確保は緊急の課題となっていました。

## ■活動目的

地域住民の買い物や病院受診等の日常生活に必要な移動手段を確保するため「モモタク運営協議会」が主体となって生活交通※を始めました。

千種学区は「千種白鳳」という白桃が有名なことから「モモタク」と名付けました。

※生活交通とは鉄道や路線バスの利用が不便な地域で生活・活動する住民の移動を支えるため、地元主体で計画・運用する公共交通サービス



モモタクロゴマークは  
岡山県立瀬戸高校の生徒が  
デザインしてくれました。

## ■これまでの活動や取り組みについて

平成 28 年 7 月に「千種学区の公共交通を推進する会」を立ち上げ、駅から遠方の町内会長が話し合いを行っていました。平成 29 年 12 月には千種学区の全町内会長に話し合いに入ってもらい、同時に「モモタク運営協議会」に名称を変更し、2 か月から 3 か月に 1 回開催しました。

学区内全世帯を対象にアンケートも実施し、ア

ンケートには買い物や通院状況を調査項目に入れ、連合町内会が中心となり配布しました。その集計結果を基に、「モモタク」の運行日時や停留所の設置を決めました。

平成 31 年 4 月から試行運行が始まり、試行期間中の平成 31 年 4 月～令和 2 年 3 月までの利用実績は延べ 2,158 人、稼働便数は 931 便、平均稼働率は 60%を超え、多くの人に利用してもらっています。

令和 2 年度からは本格運行も始まり、ますます多くの皆さんにご利用いただいています。



## ■工夫していること

時刻表は、見やすく分かりやすいものにし、地域の方が利用しやすいようにしています。

また、運行業者と運行について状況確認、情報共有することで、より使いやすくなるよう利用状況を見ながら改善しています。若い世代にも利用してもらえよう、学童の帰宅時間に合わせた時刻表に改正しました。



## ■苦勞したこと

当初は、生活交通は必要ないと反対意見もありましたが、全町内会長がモモタク運営協議会に入り、千種学区全体の問題として交通問題を考えていく会議の場としました。

また、試行運行及び本格運行前には、全町内会を対象に住民説明会を開催しました。全町内会を回るのは大変でしたが、説明会によって地域住民への周知徹底や理解が進んだと思います。

## ■利用対象者

赤ちゃんから高齢者まで、利用者を限定しない。但し、事前に利用登録が必要。

## ■利用のための手続き等

- ①利用したい運行便の1時間前までに電話で予約する。
- ②予約した停留所で乗車し、運賃を支払う。  
(千種学区内は自宅など指定場所で乗車可)
- ③目的地付近の予約した停留所で降車。  
(千種学区内は自宅など指定場所で降車可)

## ■運行日・利用料金

運行は、月・水・金の週3回

1日あたり8便(4往復)

区域内(千種学区内)の移動は300円

区域と区域外をまたぐ移動は500円

(千種学区と瀬戸駅周辺エリアをまたぐ移動)

※割引サービス

6歳未満：無料

小学生：100円引き

身体障害者手帳・療育手帳・愛カード提示者：

100円引き

## ■ひと

構成スタッフ

連合町内会、民生委員児童委員協議会、愛育委員協議会、栄養改善協議会、老人クラブ連合会、学童クラブ、地域包括支援センター、万富公民館、岡山市社会福祉協議会、キリンタクシー(株)

## ■運行費

モモタクを運行するための経費は、利用者が負担する運賃と赤字補てん分は市補助金、モモタク運営協議会が負担をしています。

また、万富マルシェの売上げの一部や停留所の企業、病院から協力金をいただき、モモタクの運営費に充て、持続可能な運営の仕組みを作りました。



写真はマルシェ万富でにぎわう様子

## ■今後取り組もうとする人に伝えたいこと

モモタク運営協議会では、各種団体に運営委員として入ってもらい、合意形成のもと運営の在り方を決定してきました。その内容を住民説明会でしっかりと伝え、意見もできるだけ反映しました。住民のことを考えた制度にすれば、利用者は増え、より良い生活交通の仕組みが出来ると思います。

また、運行業者との信頼関係も重要です。運行業者には毎回会議に出席してもらい、情報交換を行い、改善箇所があれば検討しています。

これからも住民の皆さんが住み慣れた地域で安心して生活を送れるよう、支え合いの仕組みづくりとともに「モモタク」も発展させていきたいと考えています。

生活交通についてのお問合せ先  
岡山市 都市整備局 都市・交通部  
交通政策課

岡山市北区大供一丁目1番1号

TEL：086-803-1376

FAX：086-234-0435

